

令和 7 年 7 月 2 0 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

岡山県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
真庭市立中和小学校	真庭市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
真庭市立中和小学校	https://www.city.maniwa.lg.jp/site/chuhka-es/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
真庭市立中和小学校	https://kodomo.city.maniwa.okayama.jp/97434.html	https://kodomo.city.maniwa.okayama.jp/97434.html

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

教育課程特例校の説明パンフレットを作成し、全保護者に配布すると同時に、地域にも全戸配布し、保護者及び地域住民が特別な教育課程を「自分事」として捉えることができるように工夫している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、中和小学校のすべての学年において、『中和地区をいきいき元気にする』を目的とした「中和いきいき学習科」を設置し、探究活動をスパイラルで行うことによって、発達段階に応じた子供につけたい力を育成するとともに、ふるさとを愛する心を養うものである。実際、本特例を実施している中和小学校においては、評価アンケートの「児童が地域に興味をもち、意欲的に取り組んでいる」という項目において、保護者、学校関係者ともに100%の肯定的回答が得られており、成果発表会である「中和いきいき学習発表・交流会」の参加者からは「大人も子供たちに負けないようにがんばらなければならない」といった意見もあり、地域へ活力を与えることができていると考える。一方、一部の子供からはあまり達成感を感じられなかったという回答があり、個々の関心に応じた学習が展開されるような改善が必要である

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している中和小学校においては、低・中・高学年のそれぞれで系統的につけたい力を明確にし、探究的な学習を行うことによって、発達段階に応じた力をつけることができている。それらが積み上げられ、高学年では、地域のために自分たちができることを考え、ともによりよく生きる力を育むことにつながっている。

課題は児童数の減少である。児童数・学級数の減少が見込まれる中で、「中和いきいき学習科」が持続可能な教科となり、その意義を発揮し続けることができるようにすることが必要である。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示す課題の改善のために、「中和いきいき学習科」の内容をより吟味していく必要がある。地域人材を活用する仕組みづくりや教職員と地域人材との協働体制づくり、児童と地域との交流の場の確保等について更に充実・発展させ、児童の興味関心に応じた探究学習が行われるように取組を進めていく必要がある。